

54年度から実施決る

定期こだま号の分割輸送

校長会 修旅委 国鉄の要請を受入れ

五十四年度から新幹線こだま号による修学旅行専用列車廃止の方針について国鉄は本社旅客局彙業課と担当の首都圏本部、各地方鉄道においてが、現在、国鉄の置かれている状況からこそ、「やむを

ら開かれた来年度修旅専用列車輸送調

旅行実施にシゴリを残さぬよう配慮したいとしている。

また、国鉄では現場の受け入れに当たっては各修旅委個々の実情をふまえ、つなぎ列車の確保、乗降車時の混乱回避などを検討、修

学実施にシゴリを残さぬよう配慮したいとしている。

なお、一部地区で問題となつたこだま号の指定席料金は從来の修

学旅行車と同様に扱い、微収し

ることに決定した。各修旅委では直

接に分割乗車の作業に取り組むこととなる。

研修旅行始まる

約一千名が参加して

整会議で原案によって計画をすすめる一方、校長会、全修協などに要請を行っていた。

また、国鉄では現場の受け入れに当たっては各修旅委個々の実情をふまえ、つなぎ列車の確保、乗降

車時の混乱回避などを検討、修

学実施にシゴリを残さぬよう配慮したいとしている。

なお、一部地区で問題となつたこだま号の指定席料金は從来の修

学旅行車と同様に扱い、微収し

ることに決定した。各修旅委では直

接に分割乗車の作業に取り組むこととなる。

教職員・春の研修旅行は三月二

十五日から同月下旬にかけ特選十四

て三千九百千余名の教職員は思

い思いのテーマをもって研修旅

立つ。春を統いて夏季の研修

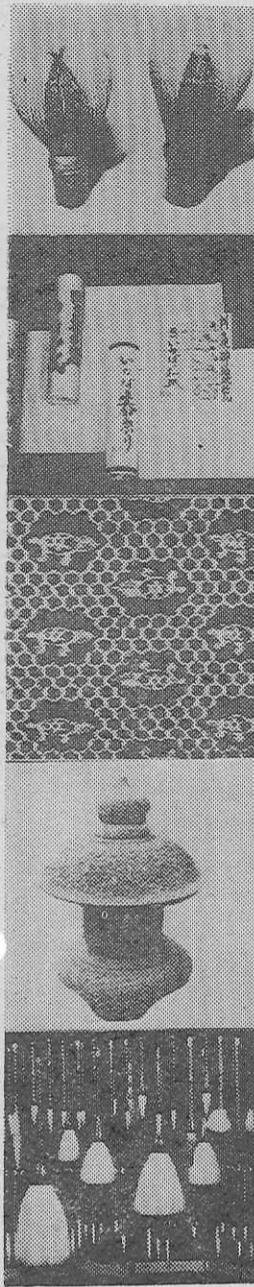
旅行も四月から募集を開始する。

おもに暖かい地区を目標にコース

コースをいっせいに実施される。

いよいよテーマをもって研修旅

立つ。春を統いて夏季の研修



■高山茶筌
主要産地＝奈良県生駒市。
十五世紀の室町時代、茶道の発展とともに茶筌の始祖御砌によつて製造法が確立し、秘伝として受け継がれる。茶筌は抹茶をたてるときに欠かせぬ道具で、形状や竹の種類によって六十種を算である。茶筌、黒竹、真竹などの強い繊維を利用して、各儀式用にそつて七千本～二十本ぐらいの種先ぎを小刀などで作る。茶道普及に伴い、現在、茶筌の九〇%ほどが地で生産される。

■因州和紙
主要産地＝鳥取県八頭郡佐治村
紙のみつた紙、雁巣紙があり、これらの用途は画仙紙、障子紙、襖など日常生活に使われる。流

伝統的工芸品展望

伝統的工芸品展望

<5>

民芸から産業へ発展

技法は秘伝で受け継ぐ

■出雲石灯籠
主要産地＝島根県松江市ほか。
起源は古く、奈良・平安時代に

程いたるまで古い技法を伝承

★

橋杭岩の奇景や岬の望楼の

芝、枯木灘海岸の厳しい美しい景

色がつづきと車窓を飾る。そし

て、きめつけの温泉湯にも泊

れば、南紀の名所はどこも満喫

したことになるはずだ。(フジ

・フジ)の問い合わせは東京船

客予約センター、(三)五五六三

〇五七八)

修学旅行のお宿に全館を開放

- 延暦寺会館本館
- 別館比叡
- 延暦寺会館第1別館 <600名様>
- 延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕

☆国際観光旅館
比叡山 延暦寺会館
TEL 0775-78-0047・0554
TELEX 5464-917

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てて

250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。

空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る「ゆうえんち」。

国際レーシングコースを走るレーサー気分も…………

そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで

校歌を歌うひととき――

チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も

忘れがたいもの、どれを取っても

学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

南国情緒を満喫

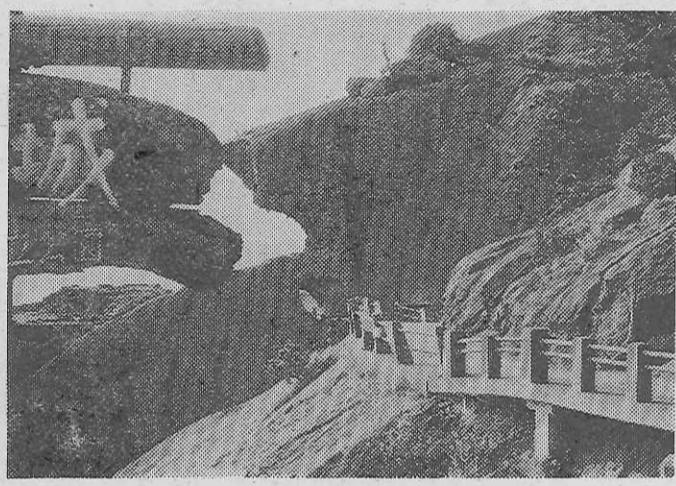
=南紀めぐり=

熊の灘も一望に

★
紀伊半島をぐるり一周する国道四号線は松阪市が起点。東京から行くにはつしまフerryが便利だ。名古屋を出港するフerryに到着、ぐるり眺てからハンドルが握れる。

まだ起き抜けの松阪市をあとに一路南紀へ。右前方に大台ヶ原の山々が青く霞んで見える快適な道である。約三〇km、大台町の中心

だから、ちょっと休んでいくよい。大内山村には、受験生の参拝者が多い頭之宮(こうべのみや)四方(よの)神社もある。



★
また、四号線にもどり、熊野の正門に、アオサギの群生地で有名な安波留島が静かに浮かんでいる。時間が許せば、大曾根浦方面へのドライブも、景色がよい。

★
港の正門に、アオサギの群生地で有名な安波留島が静かに浮かんでいる。時間が許せば、大曾根浦方面へのドライブも、景色がよい。

★
この周辺は、国道沿いにも奇岩

が多く、獅子岩、花の窓などが走りながら楽しめる。

★
熊野川にかかる狭い橋を渡って新宮市へ。市内にはいくつも右側が熊野三山のひとつ、熊野速玉大社とともに、江戸時代は「アリの熊野詣で」といわれるほど庶民の参拝が盛んだったそうだ。

境内にはほど神体のまきの老木があり、丹塗りの金殿と多くの御神体が展示されている。

★
この辺りは、丹塗りの金殿と多くの御神体が展示されている。

★
境内にはほど神体のまきの老木があり、丹塗りの金殿と多くの御神体が展示されている。

★
境内にはほど神体のまきの老木があり、丹塗りの金殿と多くの御神体が展示されている。